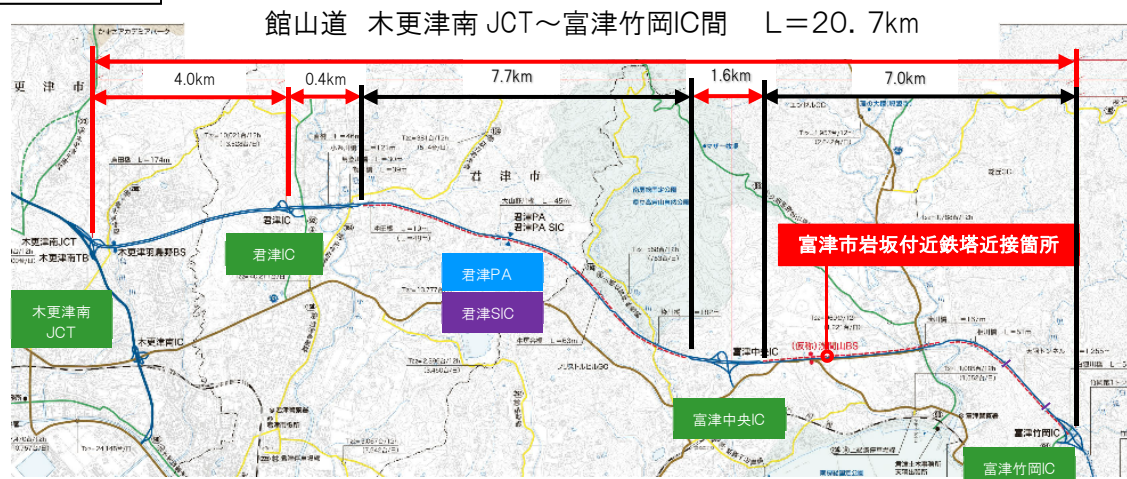


館山道 工事状況の詳細②

■位置図

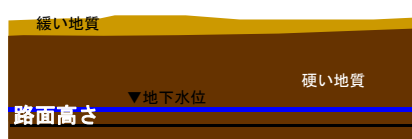


■想定と異なる地質

当初想定していたより緩い地質の範囲が深く、地下水位も高いことが判明したため、擁壁工の設計の見直しが必要となり、擁壁の完成が遅れた。

○逆L型擁壁（当初構造）

当初想定地質縦断面図

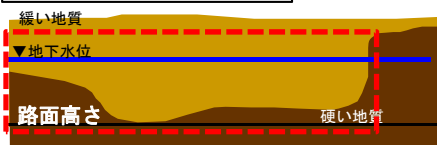


横断面図



○切土補強土工（見直し構造）

追加調査後地質縦断面図



横断面図



■鉄塔近接施工状況(H30.12)

